

International Conference on Arid Land/Desert Technology 15 で発表しました (2023/6/3-7)

テーマ：乾燥地、国際防災、干ばつ、砂漠化、食料安全保障、気候変動、SDGs

URL：<https://www.just.edu.jo/Conferences/water-management/>

2023年6月3日（土）から7日（水）にかけて、ヨルダン・ハシェミット王国において国際学会「International Conference on Arid Land/Desert Technology 15 (DT XV)」が開催されました。ヨルダン科学技術大学がホストを務め、パレスチナを望む死海沿いにおいて3日間に渡り各発表が行われ、終了後には同国南部のサウジアラビア国境に近い草原・砂漠地帯と古代遺跡ペトラを中心に2日間のField Excursionが実施されました。

当研究所からは原裕太助教（2030国際防災アジェンダ推進オフィス）が出席し、乾燥地を抱える国々の防災セクターの国際場裡におけるふるまいや発言内容に焦点を当てた下記の研究について口頭発表を行うとともに、出席者らと意見交換を行いました。

Yuta HARA : Comparative analysis of attitudes within dry-climate countries towards disaster risk reduction and relationships with efforts to combat desertification.

本国際学会には、乾燥地の水利・水文、土地利用、土壌、植生、農業・農村経済、地理情報等を専門とする諸分野の科学者や技術者らが、ヨルダン、日本のほか、サウジアラビア、アラブ首長国連邦、インド、南アフリカ、チュニジア、米国、スイスなどから集まり、乾燥地の持続可能な発展に向けて、活発な議論を行いました。



登壇・発表する原助教（右）



死海の会場での集合写真



同国南部の砂漠地帯で遊牧民ベドウィンにより放牧されるヒトコブラクダの群れ



約2,000年前の水利施設の遺構について解説を受ける参加者（ペトラ遺跡内）